

ほとめき

2015年
第3号

「ほとめき」とは筑後の方言で「おもてなし」という意味です。
書：院長 田中 真紀



撮影：岡久 理恵 「Flowers Collection 院内の花々」

当院の理念

地域住民の多様なニーズに応え、安全・安心で心の通う医療を提供する

方針

1. 利用者の尊厳を守り、地域での包括的な医療支援やサービスに努める
2. 地域に密着した公共性の高い医療を目指す
 - ① 地域医療機関との連携を強化する
 - ② 地域に特色のある医療を担う
3. 質の高い医療を提供するために資質の向上に努める



ジェイコー

JCHO 久留米総合病院

独立行政法人地域医療機能推進機構

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかな新年をお迎えのことと存じます。

昨年の日本は、ソチ冬季オリンピックに始まり、消費税8%に引き上げ、エボラ出血熱やデング熱などの感染報道、福岡ソフトバンク日本一奪還、ノーベル物理学賞3人受賞そして年末には衆議院選挙と・・・慌ただしく時間が過ぎてゆきました。

当院を振り返ってみましても、大きなイベントを経験した1年でした。

4月に社会保険病院から地域医療機能推進機構(JCHO)という新組織に移行し、

新しい就業規則や公的病院としての厳しい倫理規定に困惑しているところに、診療報酬改定が重なり、頭を悩ませる日々が続きました。

また、10月からの病院の方向性として、急性期病院として7対1の看護体制を維持し、亜急性病床8床を包括ケア病床に変更して運営することを決めました。

めまぐるしく変化する医療政策の対応に追われているのは全国どこの医療機関も同じですが、医療従事者が幸せな気持ちで患者さんのための仕事ができる場所でありたいと願います。

さて、昨年4月には念願の新診療棟建設に着工しました。新診療棟は地下1階、地上5階建てで今秋完成予定です。今月から始まる手術室の改修工事では、最近増加してきた鏡視下手術対応の手術室を設けます。夢はふくらむばかりです……。

今後も少しでも地域に貢献できるよう、職員一丸となって励むつもりです。

今年もご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



院長
田中 眞紀



2015年1月5日
仕事始めの行事

2015年1月5日16時より、仕事始めの行事を行いました。

JCHO 尾身理事長の動画による年頭挨拶の後、田中院長から今年の目標や方針等についての説明がありました。

職員一同、思いをひとつにし、地域に貢献できる働きをするべく、一致団結致しました。



新診療棟建設状況

新診療棟の建設工事は、今秋完成を目指して急ピッチで行われています。スタッフは、当院をご利用の皆様へ、これまで以上に良い医療をご提供できるよう各部署の平面図や配置図、業務フローの見直しなどを行っており、モチベーションも上がる一方です。



2014年4月



2014年5月



2014年6月



2014年7月



2014年8月



2014年9月



2014年10月



2014年11月



2014年12月



2015年1月



新診療棟
2015年秋完成予定

受章の重み

昨年5月、独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）本部から秋の叙勲候補者として推薦したい旨のお話がありました。大変名誉なことであり、特別にお断りする理由もなく、「よろしく願います。」とお答えしました。叙勲ということで、この制度について調べてみました。昭和20年敗戦で明治以来の栄典制度は運用できなくなっていました。春秋の叙勲が復活したのは昭和39年のことだそうです。

叙勲の基準は平成15年の閣議決定された最新のものでは、「勲章は、国家または公共に対し功労のあるものを広く対象として、その功労の質的な違いに応じて旭日章または瑞宝章のいずれかを授与するものとする。」とあります。各省庁を通じて内閣府省勲局に集められた推薦状が審査され、閣議で叙勲対象者が決定されるそうです。決定した叙勲対象者の名前は総理大臣を通じて天皇陛下に上奏されることになります。

私の場合はJCHO本部からの推薦が厚生労働省を経て内閣府賞勲局に上がり、そこでの審査が始まりました。推薦状に書かれてあることへの問い合わせがあり、追加資料の提出が求められました。「まあよかろう」ということでしょうか、10月の閣議で平成26年度秋の叙勲対象者として正式に認められました。叙勲の日は11月13日（木）と通知されました。授与される勲章は瑞宝小綬章です。厚生労働大臣から夫婦ともども厚生労働省までおいで頂きたい旨の勲章の伝達式の案内状が届きました。

11月13日は、日本晴れでホテルから雪を頂いた富士山がよく見え、すがすがしい気持ちでこの日を迎えることができました。朝、式服に身を包み、指定された霞が関の厚生労働省に出向きました。厚生労働省の副大臣、事務次官等の幹部職員が出席して天皇陛下からの勲章を伝達する式が行われました。私たちは授与された勲章を胸に、用意されたバスに乗り込み皇居内に入りました。皇居内の松の緑は美しく秋の陽に輝いていました。招き入れられた豊明殿の大広間は絨毯が敷き詰められ、豊旗雲がたなびく壁画、天井高くきらめくシャンデリアが私たちにとっての特別な空間を演出していました。



名誉院長
津田 英照



私たち受章者は前列に、配偶者は後列に並び拝謁に備えていました。

やがて広間の一角がスルスルと開き、陛下がお出ましになりました。陛下は静かに歩みを進められ、私たちに会釈をされて、お立ち台に上がられました。その間、私たちは直立不動でした。陛下は各分野で、社会、国家のために働いてくれてありがとうと張りのあるお声で謝意のお言葉を述べられました。私たちは陛下のお言葉に全神経を集中させていました。

やがて陛下はお立ち台を降りられ、車椅子で出席している身体の不自由な受章者の方々へお言葉をおかけになりました。ついで陛下は配偶者の列に近づかれ、内助の功に労いの言葉をかけて回られ、静かに会釈をされながら会場を去られました。こうして拝謁は終わりましたがこの間、約30分、完全な静寂の中、誰一人として言葉を発する者はなく、私自身この拝謁の儀式の中で受章の重みをずしりと感じました。

この受章は社会保険久留米第一病院時代から十余年、職員とともにやってきた「地域社会との融和、心の通う医療の展開」が評価されたものに違いありません。

一方でどれだけのことが出来たのか、これから出来るのかと思うとき、身の引き締まる思いがいたします。これからも社会から寄せられた期待に、職員が応え続けてくれることを切に願っています。

叙勲を祝う会 平成26年11月28日 於 ホテルマリターレ創世 久留米



看護部より

当院は医療の高い専門性の追求と、人と人とのつながりを大切にした、人間味あふれる心の通う医療の提供を基本理念としています。

看護部では、「心の通う利用者中心の看護」の理念のもと、看護の基本を大切に確かな知識・技術と判断力で、利用者が必要とする看護を心を込めて提供しています。良質な看護の提供のために、現任教育にも力を注ぎ人材の育成に努めています。看護職員の学ぶ姿勢を大切に、院内・院外での各種研修会をはじめとして、認定看護研修などの長期研修に積極的に参加できる支援づくりも行っていきます。

新人看護師を対象とした「新人看護職員卒後臨床研修」の取り組みを、年間計画に沿って実施しています。

医療・介護を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、「心はいつも新鮮」でありたいと思っています。看護職員一人ひとりが希望を持って働ける職場づくり、地域の人々から愛され共に歩み続ける病院となるよう努めてまいります。



総看護師長
川崎 通子



看護部理念

心の通う利用者中心の看護



認定看護師



認定看護管理者
入部 直子



がん化学療法看護
時里 玉栄



乳がん看護
坂口 まさみ



皮膚・排泄ケア
野口 ひろみ



緩和ケア
亀島 美保



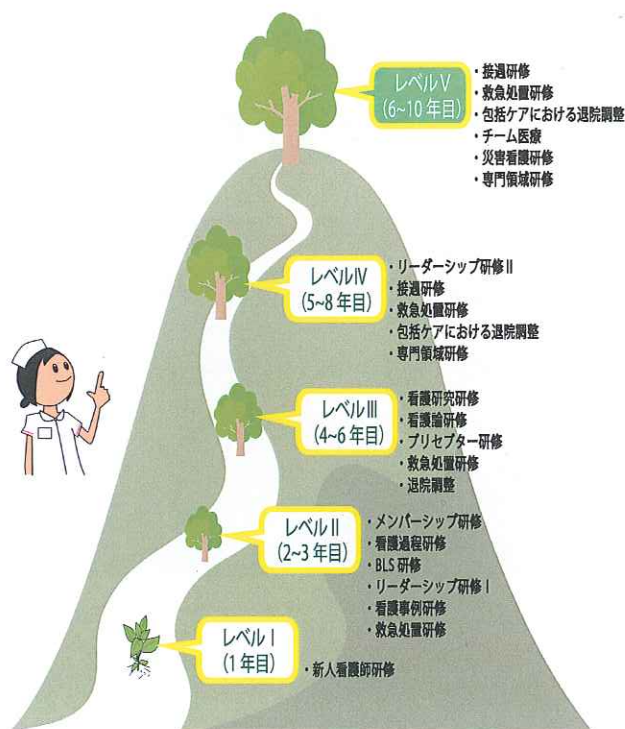
がん性疼痛
大川内 直美



認知症看護
祁答院 美和子



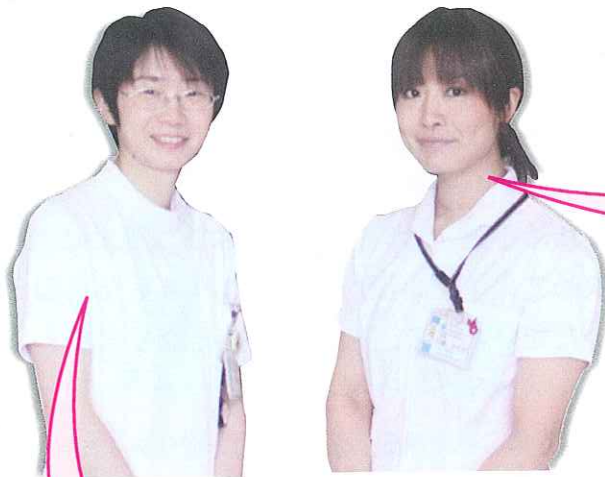
クリニカルラダー



【実施月】	【集合研修内容】
4 月	感染管理・医療安全研修、接遇マナー研修 看護基礎技術研修（採血・注射・輸液・TPN など）
5 月	看護記録（電子カルテ運用方法・看護診断など） 看護基礎技術研修（酸素療法・吸引、浣腸、導尿）
6 月	宿泊研修 救急蘇生法・放射線被爆研修、夜勤の心得について
7 月	創傷管理研修（褥瘡の予防対策の基本的知識の習得）
8 月	多重課題研修（ロールプレイングで多重課題の対応）
9 月	メンタルヘルス研修、心電図 12 誘導装着研修
10 月	災害管理研修（初期行動の理解など）
11 月	輸血療法研修（輸血の基本知識の習得、観察など）
12 月	フォローアップ研修（看護倫理について事例検討）
1 月	人工呼吸管理・看護の実際
2 月	終末期看護研修
3 月	フォローアップ研修（看護観など）



新人看護師 & 指導者の声



3 階病棟 新人看護師 石橋 さくら

色々悩んだこともありましたが、上司の方々や諸先輩方、同期の仲間に支えられ前向きに取り組むことができている。厳しいご指導をいただくこともありますが、いつもそこに温かさを感じています。心の通う働きやすい職場です。



3 階病棟 指導者 大場 玉記

入職当初と比べ、患者さんへの優しい声かけやキビキビとした対応とメリハリのある看護ができ、成長が感じられるので嬉しいです。スタッフと信頼関係もでき、指導者含め皆で励まし合いながら、日々勉強し頑張っています。



肺炎球菌ワクチンについて

肺炎は、日本の現在の成人の死亡原因の第3位です（表1）。肺炎の原因微生物はたくさんあるのですが、その中で一番多い原因微生物は「肺炎球菌」です（図1）。また、この肺炎球菌は肺炎のみならず、全身のあちこちに感染し1~2日で命を脅かす状態を引き起こします（図2）。その危険な肺炎球菌感染を予防することが、肺炎も含めた重症感染症を減らし、日本人の早期病死の改善に繋がります。また、それによる医療費の大幅な削減が見込まれています（成人肺炎球菌感染予防による医療費削減は約5,000億円以上との試算）。



総合診療科医長
(呼吸器内科)
平井 良

表1

死因順位別死亡数の年次推移

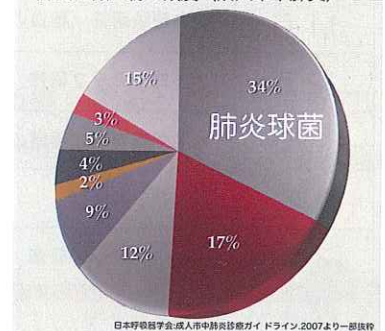
死因順位	平成13年 (2001)		18年 (2006)		23年 (2011)		24年 (2012)		25年 (2013)	
	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数
第1位	悪性新生物	300 658	悪性新生物	329 314	悪性新生物	357 305	悪性新生物	360 963	悪性新生物	365 000
第2位	心疾患	148 292	心疾患	173 024	心疾患	194 926	心疾患	198 836	心疾患	197 000
第3位	脳血管疾患	131 856	脳血管疾患	128 268	肺炎	124 749	肺炎	123 925	肺炎	124 000
第4位	肺炎	85 305	肺炎	107 242	脳血管疾患	123 867	脳血管疾患	121 602	脳血管疾患	119 000

注：平成24年までは確定数、平成25年は推計数である。

*平成25年(2013)人口動態統計の年間推計より抜粋

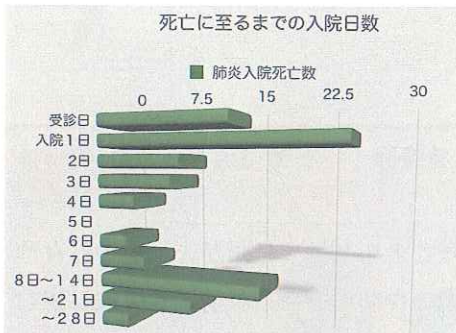
図1

肺炎の微生物の頻度（成人市中肺炎）



日本呼吸器学会成人市中肺炎診療ガイドライン2007より一部抜粋

図2



このため、平成13年頃より肺炎球菌ワクチンの予防接種が始まりました。対象は、65歳以上の方、60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器の病気がある方、ヒト免疫機能低下の方などでした。現状の肺炎球菌ワクチンは予防接種後約5年で効果がなくなると言われています。接種開始当初、安全性の問題で生涯一度のみの接種とされていましたが、現在は安全性が確認され生涯二度の接種が可能です。

ところが、肺炎球菌ワクチンは自費であったため、なかなか世に浸透しませんでした。このため平成26年10月1日より公費助成が開始となり、毎年対象者を決めての予防接種が可能となりました（図3）。以下の注意点をご理解いただいた上で、接種が可能となります。

図3

平成26年度接種対象者

今年度以下の年齢になる方が定期接種の対象となります。	
65歳	昭和24年4月2日~昭和25年4月1日生まれの方
70歳	昭和19年4月2日~昭和20年4月1日生まれの方
75歳	昭和14年4月2日~昭和15年4月1日生まれの方
80歳	昭和9年4月2日~昭和10年4月1日生まれの方
85歳	昭和4年4月2日~昭和5年4月1日生まれの方
90歳	大正13年4月2日~大正14年4月1日生まれの方
95歳	大正8年4月2日~大正9年4月1日生まれの方
100歳	大正3年4月2日~大正4年4月1日生まれの方
101歳以上	大正3年4月1日以前にお生まれの方

60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する方（インフルエンザの定期接種対象者と同様）。

注意点

- 肺炎球菌ワクチンを接種しても、必ず肺炎にならないわけではありません。肺炎球菌以外の細菌で肺炎を起こすことがあります。
- 現在（図3）の年齢でも、平成27年3月末までに誕生日を迎え一つ上の年齢に達する方は対象外です。
- 接種した回数・年月を記憶しておく必要があります。（生涯2度のみ。また5年以内に2度目を接種しない。）
- 接種5年後以降に2度目の予防接種を希望される場合、助成はありません。
- 今年度の対象者が平成27年3月末までに接種できない場合、それ以降の接種は助成対象となりません。（自費接種は可能です。）
- お住まいの住所と別の県での接種は助成対象となりません。（例：佐賀県在住の方が久留米市で接種する場合は助成対象外）

当院でも肺炎球菌ワクチン接種を行っております。ご不明な点は、ご遠慮なく内科外来または健康管理センターにお尋ねください。

JCHO が理念を策定

JCHO グループの職員が一丸となって取り組み、共有すべき価値観を明確にする目的で、JCHO の「理念」が策定されました。

理念

我ら全国ネットの JCHO は地域の住民、行政、関係機関と連携し地域医療の改革を進め安心して暮らせる地域づくりに貢献します

キャッチフレーズ

安心の地域医療を支える JCHO

使命

- 1) 地域医療、地域包括ケアの要として、超高齢化社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の生活を支える。
- 2) 地域医療の課題の解決・情報発信を通じた全国的な地域医療・介護の向上を図る。
- 3) 地域医療、地域包括ケアの要となる人材を育成し、地域住民への情報発信を強化する。
- 4) 独立行政法人として、社会的な説明責任を果たしつつ透明性が高く財政的に自立した運営を行う。

第 1 回地域連携講演会を開催

2015 年 1 月 6 日（火）、久留米大学医学部神経精神医学講座教授の内村直尚先生にお越しいただき、『睡眠薬の理想的な使い方 - 夜間せん妄や転倒予防を考えた不眠対策』をテーマに、講演いただきました。

睡眠不足からヒューマンエラーが生じ様々なミスにつながることで、睡眠を取ることの大切さなどについて分かりやすくお話いただきました。地域医療機関の先生方など外部の参加者を含め、92 名の参加者がありました。

【第 2 回地域連携講演会】

日時：2015 年 2 月 9 日（月）18 時～19 時

会場：JCHO 久留米総合病院 新館 5 階第 1 会議室

講師：久留米大学医学部消化器内科教授鳥村拓司先生

演題：「進行肝細胞癌について」



指導医資格・専門医資格を取得

乳腺外科 田中眞紀院長、山口美樹部長が日本乳癌学会乳腺指導医資格を取得しました。



院長
田中 眞紀



乳腺外科部長
山口 美樹

乳腺外科 大塚弘子医長が日本臨床腫瘍学会専門医資格を取得しました。



乳腺外科医長
大塚 弘子

日本大腸肛門病学会認定施設に

2014 年 9 月 27 日付、日本大腸肛門病学会認定施設として認定されました。



<p>一般演題 早期発見された乳腺化生癌の一例 大塚弘子、山口美樹、村上直孝、田中夏樹、津留崎早也佳、西村太郎 田中真紀、山口倫 2014年2月14-15日：第20回日本乳腺疾患研究会</p>	<p>完全内臓逆位を伴う急性胆嚢炎に腹腔鏡下胆嚢摘出術を行った1例 津留崎早也佳、村上直孝、西村太郎、田中夏樹、大塚弘子 山口美樹、田中真紀、磯邊眞 2014年5月9日-11日：第51回九州外科学会</p>
<p>症例報告「pleomorphic carcinoma」 平井良武 2014年2月22日：九州乳房超音波研究会</p>	<p>乳癌化学療法中に化膿性筋炎をきたした1例 岩本周子、山口美樹、村上直孝、田中夏樹、津留崎早也佳 西村太郎、田中真紀 2014年5月9日-11日：第50回九州内分泌外科学会</p>
<p>授乳期乳癌の一例 津留崎早也佳、山口美樹、田中夏樹、大塚弘子、村上直孝、山口倫 田中真紀 2014年3月1-2日：第11回日本乳癌学会九州地方会</p>	<p>ランチョンセミナー2『外科医を増やそう!!』 ～ Women Breast Cancer Consortium の活動を通じて～ 田中真紀 2014年5月9日-11日：第50回九州内分泌外科学会</p>
<p>乳房再建術と同時に反対側乳房形成を受けた症例に生じた異時性乳癌の3例 大塚弘子、矢永博子、山口美樹、村上直孝、田中夏樹、津留崎早也佳 西村太郎 2014年3月1-2日：第11回日本乳癌学会九州地方会</p>	<p>患者と家族の希望する療養環境を目指して 他職種協同により地域連携を強化した事例を振り返る 亀島 美保 2014年6月19日~21日：第19回日本緩和医療学術大会</p>
<p>再発乳癌による心嚢液貯留に対しデンバーシャント留置がQOL改善に有用であった1例 山口美樹、村上直孝、大塚弘子、津留崎早也佳、田中真紀 2014年3月1-2日：第11回日本乳癌学会九州地方会</p>	<p>間質性肺炎に合併した致死性のサイトメガロウイルス感染症の臨床的検討 平井良、北里裕彦、古賀智絵、岡元昌樹、平原奈奈、田尻守弘 高田昇平、南浩、星野友昭 2014年6月28日：第72回日本呼吸器学会・日本結核病学会 九州支部 春季術講演会</p>
<p>(コンセンサスカンファレンス) パネリスト 田中真紀 2014年3月1-2日：第11回日本乳癌学会九州地方会</p>	<p>乳癌術後放射線治療関連 BOOP 症候群と思われた1例 古賀智絵、北里裕彦、山口美樹、平原奈奈、平井良、南浩、田中真紀 星野友昭 2014年6月28日：第72回日本呼吸器学会・日本結核病学会 九州支部 春季術講演会</p>
<p>Management of breast papillary lesions diagnosed at ultrasound-guided Rin Yamaguchi, Maki Tanaka, Gary M Tse, and Hirohisa Yano 2014年3月1-8日：103rd USCAP</p>	<p>COPDに合併したアレルギー性気管支肺真菌症 (ABPM) と考えられた1例 北里裕彦、東公一、古賀智絵、平原奈奈、平井良、南浩、星野友昭 2014年6月28日：第72回日本呼吸器学会・日本結核病学会 九州支部 春季術講演会</p>
<p>PEP(グラシル)を用いた人工血管内シャントが閉塞を繰り返した症例の検討 黒川佑佳、枝國節雄 2014年3月1日：第19回バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会</p>	<p>超音波とマンモグラフィで所見の乖離を認めた、単純性嚢胞との鑑別が困難であったDCISの1例 横山吾郎、山口美樹、橋口俊洋、山口倫、田中真紀 2014年7月10日-12日：第22回日本乳癌学会</p>
<p>バスキュラーアクセス過剰血流に対して人工血管内挿法による血流制御は有効である 枝國節雄、黒川佑佳 2014年3月1日：第19回バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会</p>	<p>乳癌術後肩関節可動域リハビリテーションにおける看護師の役割 坂口まさみ、大場玉記、北原美代子、有働佳代、山口美樹、田中真紀 2014年7月10日-12日：第22回日本乳癌学会</p>
<p>経済的に自動吻合器を用いた腹腔鏡下胃切除後の再建法 村上直孝 2014年3月21-23日：第86回日本胃癌学会総会</p>	<p>過去10年間で経験した男性乳癌の検討 津留崎早也佳、山口美樹、田中夏樹、大塚弘子、村上直孝、山口倫 田中真紀 2014年7月10日-12日：第22回日本乳癌学会</p>
<p>当院における高齢救急患者の背景 平井良 2014年3月22日：第3回筑後地域救急医療研究会</p>	<p>内分泌受容体陽性/HER2 蛋白発現陰性の進行・再発乳癌に対するフルベストラン治療例の検討 山口美樹、田中真紀、唐宇飛、岩熊伸高、田中将也 2014年7月10日-12日：第22回日本乳癌学会</p>
<p>救急を始めて1年の成果と課題 杉山和英、松隈則人、時里玉栄、森かおる、田中真紀 2014年3月22日：第3回筑後地域救急医療研究会</p>	<p>当院における術前化学療法後のセンチネルリンパ節生検の経験 大塚弘子、山口美樹、村上直孝、田中夏樹、津留崎早也佳、西村太郎 田中真紀、山口倫 2014年7月10日-12日：第22回日本乳癌学会</p>
<p>女性診療放射線技師としてがんばってます - すべての方にささえられて - 中原博子 2014年3月22日：第9回城南地区診療放射線技師勉強会</p>	<p>日本乳癌学会会員を対象とした女性医師の労働問題に関するアンケート調査結果 玉木康博、阿南敬生、河野範男、高尾信太郎、武井寛之、田中真紀 萬屋京子 2014年7月10日-12日：第22回日本乳癌学会</p>
<p>経済的に自動吻合器を用いたLADG後のBillroth-I法再建法～TUCS B-I法～ 村上直孝 2014年4月3-5日：第114回日本外科学会定期学術集会</p>	<p>経済的に自動吻合器を用いた鏡視下Billroth-I法再建 (TUCS B-I法) 村上直孝、津留崎早也佳、西村太郎、田中夏樹、大塚弘子、山口美樹 田中真紀、磯邊眞、緒方裕、白水和雄 2014年7月16日-18日：第69回日本消化器外科学会総会</p>
<p>非浸潤性乳管癌の術前診断症例における術中捺印細胞診とOSNA法併用のセンチネル 山口美樹 2014年4月3-5日：第114回日本外科学会定期学術集会</p>	<p>Tamoxifenによると推測される好中球減少症の一例 大塚弘子、山口美樹、村上直孝、田中夏樹、北里裕彦、平井良、田中真紀 2014年7月17日-19日：第12回日本臨床腫瘍学会学術集会</p>
<p>女性も男性も輝く社会をめざして 田中真紀 2014年4月13日：第111回日本内科学会総会・講演会 男女共同参画企画公開シンポジウム</p>	<p>フレッシュアーズセミナー エチケットマナー講座 中原博子 2014年8月23日：福岡県診療放射線技師会</p>

FEC followed by weekly nab-Paclitaxel 療法による術前化学療法 の臨床第II相試験 唐宇飛、岩熊伸高、三島麻衣、赤木由人、淡河惠津代、藤井輝彦、 山口美樹、田中真紀、中川志乃 2014年8月28日～30日：第52回日本癌治療学会学術集会	完全内臓逆位を伴う急性胆嚢炎に腹腔鏡下胆嚢摘出術を行った1例 津留崎早也佳、村上直孝、西村太郎、田中夏樹、大塚弘子、山口美樹 田中真紀、磯邊眞 2014年5月9日-11日：第51回九州外科学会
乳房温存術に対しセボフルラン、フェンタニル、プロポフォール を併用した無挿管マスク全身麻酔 森智恵子、愛甲朋、園田真由、杉山和英、福ヶ迫学人、能塚博史 田中真紀、山口倫 2014年9月6日：九州麻酔科学会第52回大会	発見動機による非浸潤癌の検討 山口美樹、田中真紀、大塚弘子、村上直孝、田中夏樹、朔周子 白水雄、横山吾郎、三島麻衣、山口倫 2014年11月7日～8日：第24回日本乳癌検診学会学術総会
フェンタニルによる術中アナフィラキシーショックと思われる 1例 森智恵子、杉山和英、西村有香 2014年9月6日：九州麻酔科学会第52回大会	平坦型上皮異型 (flat epithelial atypia) の診断 山口倫、田中真紀、山口美樹 2014年11月7日～8日：第24回日本乳癌検診学会学術総会
市民公開講座 スーパーレントゲン ～見えない乳がんを写す 中原博子 2014年9月20日：第30回日本診療放射線技師学術大会	イレウス管により2ヶ所の重積をきたした成人腸重積の1例 村上直孝、朔周子、田中夏樹、岐部史郎、大塚弘子、山口美樹 白水雄、田中真紀、磯邊眞、武田仁良、赤木由人 2014年11月20日～22日：第76回日本臨床外科学会総会
呼吸器感染症に合併する敗血症や血球貧食症候群との鑑別に苦慮 した高齢発症 SLE の1例 北里裕彦、古賀智絵、海江田信二郎、吉田直実、辻奈奈、平井良 松隈則人、南浩、井田弘明、星野友昭 2014年9月19日～20日：第9回日本病院総合診療医学会学術総会	単孔式腹腔鏡補助下に結石除去を行った胆石イレウスの一例 田中夏樹、村上直孝、朔周子、岐部史郎、大塚弘子、山口美樹 白水雄、田中真紀、磯邊眞、武田仁良、赤木由人 2014年11月20日～22日：第76回日本臨床外科学会総会
(シンポジウム) 乳腺外科医と形成外科医とで連携して施行した組 織拡張器-人工乳房による乳房再建の10年以上経過症例の検討 田中真紀、山口美樹、大塚弘子、朔周子、岐部史郎、村上直孝、矢永博子 2014年10月3日～4日：第2回日本乳房オンコプラステックサージャリー学会	(主題ビデオシンポジウム) 下部直腸癌に対する括約筋切除肛門 温存術 白水雄、村上直孝、岐部史郎、赤木由人 2014年11月20日～22日：第76回日本臨床外科学会総会
Clinicopathologic study of microinvasive carcinoma. Michi Morita,Rin Yamaguchi,Maki Tanaka,Gary M Tse,Susumu Eguchi, and Hirohisa Yano 2014年10月5日～10日：The 30th International Academy of Pathology,	Clinicopathologic study of microinvasive carcinoma. Michi Morita,Rin Yamaguchi,Maki Tanaka,Gary M Tse,Susumu Eguchi, and Hirohisa Yano 05 oct 2014-10 oct 2014：The 30th International Academy of Pathology,
(シンポジウム) ソフトコピー診断移行により取り組むべき日常 管理の問題点について 中原博子、野田幸代、田中美穂、大村智美、田中真紀、山口美樹 大塚弘子 2014年11月7日～8日：第24回日本乳癌検診学会学術総会	Management of breast papillary lesions diagnosed at ultrasound guided vacuum-assisted and core needle biopsies. Rin Yamaguchi,Maki Tanaka,Gary M Tse, and Hirohisa Yano 1 march 2014-8 march 2014：103rd USCAP
ステレオガイド下マンモトーム生検にて鑑別困難と診断された 症例の検討 大塚弘子、田中真紀、山口美樹、村上直孝、田中夏樹、朔周子 白水雄、中原博子、山口倫、横山吾郎、三島麻衣 2014年11月7日～8日：第24回日本乳癌検診学会学術総会	左腎細胞癌と横行結腸癌の同時性重複癌に対して一期的に腹腔 鏡下手術を施行した1例 大西怜、村上直孝、岐部史郎、朔周子、白水雄、磯邊眞、武田仁良 2014年11月26日～28日：第28回日本泌尿器内視鏡学会総会

著書・著述論文 (邦文・英文)

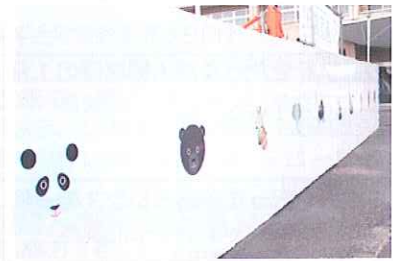
タイトル / 著者 / 掲載誌

マイクロ波子宮内膜アブレーション (Microwave Endometrial Ablation:MEA) 治療経験 桃崎正啓、伊地知盛夫、山本広子、畑瀬哲郎、竹本周二、角野由佳 福岡産科婦人科学会雑誌, Vol.37, No.2, P3-6	The thoracic cage becomes flattened in the progression of pleuroparenchymal Taishi Harada,Yuji Yoshida,Yasuhiko Kitasato,Nobuko Tsuruta,Kentaro Wakamatsu, Takako Hirota,Makoto Tanaka,Naoki Tashiro,Hiroshi Ishii,Matokimi Shiraiishi, Masaki Fujita,Nobuhiko Nagata and Kentaro Watanabe 日本臨床外科学会雑誌, Vol.74, No.11 P.2980-2985
陰嚢内に発生した両側平滑筋腫の1例～ 大西怜、林篤正、土橋一代、内田政史、吉武信行、松岡啓 西日本泌尿器科, Vol.76, No.4, P127-130	Molecularly-Targeted Therapeutic Strategies for Breast Cancer Focusing on HER2-Targeted Therapy, mTOR Inhibitor and Antiangiogenic Therapy Teruhiko Fujii,Keisuke Miwa,Tomoyuki Ushijima,Mototsugu Matsunaga,Masaru Fukahori, Kotaro yuge,Uhi Toh,Nobutaka Iwakuma,Ryuji Takahashi,Hiroki Takahashi,Miki Takenaka, Mai Mishima,Yoshito Akagi,Masayoshi Kage,Shino Nakagawa and Maki Tanaka Frontiers in Anti-Cancer Drug Discovery, Vol.4, P157-228
病理組織学的に UIP と RB がオーバーラップした喫煙関連間質性 肺疾患の1例～ 澤田芳雄、北里裕彦、渡辺憲太郎、岡元昌樹、岩間映二、吉見通洋、岡林寛、 高田昇平、川山智隆、星野友昭 日本胸部臨床, Vol.73, No.5, P580-586	Management of breast papillary lesions diagnosed at ultrasound-guided vacuum-assisted and core needle biopsies. Yamaguchi R,Tanaka M, Tse GM, Yamaguchi M,Terasaki H,Hirai Y,Nonaka Y,Morita M Yokoyama T,Kanomata N,Naito Y,Akiba J,Yano H Histopathology,Vol.12477, P.11111
乳がん患者の妊娠出産と生殖医療に関する診療の手引き 2014年版～ ガイドライン作成協力 山口美樹 金原出版株式会社	Broad fibrovascular cores may not be an exclusively benign feature in papillary lesions of the breast:a cautionary note. Yamaguchi R,Tanaka M, Tse GM,Yamaguchi M,Terasaki H,Nomura Y,Takenaka M,Naito Y,Akiba J,Yano H J Clin Pathol., Vol.67, No.3 P.258-262
マンモグラフィを診る ～カテゴリー分類の次に考えること～ 中原博子 筑後地区診療放射線技師会学術誌, Vol.2014.06, No.88, P39-41	Fibrotic focus in breast carcinomas:relationship with prognostic parameters and biomarkers. Mujtaba SS,Ni YB,Tsang JY,Chan SK,Yamaguchi R,Tanaka M,Tan PH,Tse GM. Ann Surg Oncol, Vol.20, No.9 P.2842-2849
有害事象と乳癌薬物療法 3 「皮膚症状」 田中真紀、山口美樹 各領域専門医にきく 乳癌薬物療法ケースファイル (編集：佐伯俊昭 出版：南江堂), P.232-240	Increased lymphocytic infiltration in breast cancer correlated with molecular subtypes and HER2 gene amplification. Tsang JY,Ni YB,Chan SK,Yamaguchi R,Tanaka M,Tan PH,Tse GM. Histopathology, Vol.62, No.6 P.963-965
急速増大した乳腺原発 poorly differentiated/small cell carcinoma の1例 吉田直裕、山口美樹、田中真紀、磯邊眞、山口倫 日本臨床外科学会雑誌 Vol.74, No.11 P.2980-2985	

新診療棟建設だより

施行業者である前田建設工業株式会社が建設現場で行っている取り組みをご紹介します。

新診療棟建設の工事壁面には、道ゆく人々の目を楽しませてくれる数々の絵が描かれています。院内託児所「キッズルーム SUNSUN」の前の壁面には、特に子供たちが喜ぶような、動物の絵が描かれています。



表紙の写真

院内のフロアやお手洗いなどには、フラワーアレンジや生け花などのお花がたくさん飾られています。このお花の数々は、お掃除の方や華道クラブにより、飾られています。季節を感じられる花々は清楚で色合いもよく、とても綺麗で、患者さんや私たちスタッフの目と心を癒してくれています。

(広報委員 岡久理恵)

編集後記

生まれてはじめての誕生日は、家族・みんなでお祝いするもの。私の娘も2月で1歳になります。この初誕生日には「餅」を使った、日本独特のお祝い行事が存在します。このお祝い行事は、数多くのやり方が地域ごとにはありますが、赤ちゃんに餅を「背負わせる」タイプと「踏ませる」タイプが基本のようです。両親に尋ねると我が家は「背負わせる」タイプでした（九州地方は踏ませる方が多いそうです・・・）。お祝い行事には事前準備がいろいろあって面倒ですが・・・元気で丈夫に育ってくれるならと思うと軽い足取りで準備ができます。いい思い出作りができてうれしく思う反面、一年の月日が経つ早さに驚かされました。

(広報委員 黒木 康平)



私の娘 りほ 里萌 ♪



ジェイコー

JCHO 久留米総合病院

独立行政法人地域医療機能推進機構

Japan Community Health care Organization: JCHO

〒830-0013 福岡県久留米市櫛原町 21 番地

TEL : 0942-33-1211 FAX : 0942-32-0113 URL : <http://kurume.jcho.go.jp/>

2015年2月発行 発行責任者：院長 田中 真紀 編集：広報委員会